

上海へのスタディ・ミッションを実施

期 間： 2018年9月5日(水)～9月8日(土)
共 催： 上海市人民対外友好協会
参加企業： ANAホールディングス、清水建設、パナソニック、日立製作所、
ミズノ

経済広報センターは、上海市人民対外友好協会の協力を得て、9月5日から8日にかけて上海にスタディ・ミッションを派遣した。

ミッションの目的は、中国の最新のメディア事情の把握や上海の有力メディアとのネットワーク構築、中国の消費動向やAIなどの最先端技術の活用状況の理解など。

上海市は、本年11月実施の中国初の国際輸入博覧会の開催地であり、また、経済やイノベーション、文化などの面で世界をリードするグローバル都市になることを目標として掲げており、日本企業にとっての重要性がますます高まっている。

今回のミッションには、ANAホールディングス、清水建設、パナソニック、日立製作所、ミズノの5社が参加した。

一行は、上海市人民対外友好協会の幹部と日本企業にとっての上海市の魅力をテーマに懇談するとともに、上海市の広報を統括する上海市人民政府新聞弁公室を訪問した。

また、上海の有力メディアである解放日報や東方網、上海日報の記者らと懇談するとともに、研究機関である上海商務発展研究中心からは、中国の最近の消費の特徴について説明を受けた。

中国企業への訪問では、アリババ集団傘下の実店舗とネット販売を融合した新しい形態の生鮮食品スーパー、盒馬(フーマー)鮮生を訪れ、最新の小売店舗の運営手法を見学した。加えて、中国最大の家電量販店で日本のラオックスを2009年に買収した蘇寧(スーニン)を訪問し、同社のブランド構築手法やラオックスの事業展開などについて話を聞いた。上海のスタートアップ企業である深蘭科技(ディープブルーテクノロジー)では、同社の自動運転やAIロボット、生体認証などの開発状況や活用の事例などについて説明を受けた。

以 上



上海市人民对外友好協会と訪問団

一般財団法人 経済広報センター 国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話 : 03-6741-0031

<http://www.kkc.or.jp/> ※本稿の無断転載を禁じます。